## 令和5年取扱貨物量の概況



	令和5年の取扱貨物量				
輸出	29万 9,702トン (対前年比 80.1%)				
輸入	321万 4,945トン (対前年比 102.4%)				
移出	27万 285トン (対前年比 103.0%)				
移入	183万 1,077トン (対前年比 109.5%)				
合計	561万 6,009トン (対前年比 103.1%)				



石狩湾新港の令和5年取扱貨物量は全体として前年を若干上回る5.616.009トンとなりました。

主な動向として、輸出では、東南アジア等に向けた金属くずが203,252トン(対前年比81.9%)となったほか、古紙などの 再利用資材が、インドネシアやベトナムなどの東南アジアへの輸出は増加したものの、韓国向けが大きく減少し37,906トン (対前年比88.2%)となりました。

加えて、水産品は中国が輸入を禁止し、9月からの中国への輸出量が皆減となったことにより、17,710トン(対前年比56.7%)に減少するなど、輸出全体では前年を下回りました。

一方、輸入では、令和5年3月に営業運転を開始したバイオマス発電施設の燃料である木質ペレットなどの木材チップが111,488トン(対前年比319.8%)、PKS(パーム椰子殻)などの再利用資材が92,621トン(対前年比238.4%)のほか、産業機械や木製品なども増加し、輸入全体では前年を上回りました。

また、内国貿易貨物量の移出は、灯油が91,283トン(対前年比148.1%)と増加し、移入は、灯油が303,927トン(対前年比112.2%)、LPG(液化石油ガス)が286,042トン(対前年比104.0%)、揮発油184,178トン(対前年比104.4%)などの石油類が増加したほか、石灰石やセメントなどでも増加となるなど、移出入全体では、移出、移入ともに前年を上回りました。

### 【令和5年外国貿易額】

	令和5年の外国貿易額			
輸出額	309億3,982万円 (対前年比 75.5%)			
輸入額	2,097億6,723万円 (対前年比 100.0%)			
合計	2,407億 705万円 (対前年比 96.0%)			

### 石狩湾新港外国貿易額推移



石狩湾新港の令和5年外国貿易額は、小樽税関支署石狩出張所によると、輸出額が309億3,982万円、輸入額が2,097億6,723万円、総額2,407億705万円となりました。

輸出額では主要品目である「魚介類及び同調製品」が90億2,061万円(対前年比64.8%)、「金属鉱及びくず」が115億9,061万円(対前年比81.1%)となるなど、前年に比べ減額とはなりましたが、前年の開港以降の最高額に次ぐ第2位となりました。

輸入額では、主要貨物のLNGは減少したものの、電気機器や再輸入品などが増加した結果、 過去最高額となった前年を上回り、3年連続で 過去最高額を更新し、外国貿易額総額では、前 年と比べ4%のマイナスとはなったものの、過去 2番目の貿易額を記録しました。

出典:函館税関貿易統計資料

# **MARINE PRESS**

ISHIKARI BAY NEW PORT NORTHERN PORT DAZZLING THE WORLD FROM ISHIKAR

# 2024

石 狩 海 新 港 官 埋 組 合 石狩湾新港外貿貨物利用促進協議会 北海道石9市新港南2丁目72-5 Tel 0133-64-6661 Fax 0133-64-6666 http://www.ishikari-bay-newport.ip

# 外貿コンテナ取扱個数2年ぶりに増加

# 令和5年外貿コンテナ取扱個数

	区分	令和5年の外貿コンテナ取扱個数		
		合計	輸出	輸入
	実入りコンテナ	31,741 (対前年比 104.9%)	8,559 (対前年比 86.0%)	23,182 (対前年比 114.1%)
	空コンテナ	16,380 (対前年比 127.0%)	14,799 (対前年比 131.5%)	1,581 (対前年比 96.4%)
	取扱個数(TEU)	48,121 (対前年比 111.5%)	23,358 (対前年比 110.1%)	24,763 (対前年比 112.8%)

石狩湾新港の令和5年の外貿コンテナ取扱個数は輸出が23,358TEU、輸入が24,763TEU、合計で48,121TEUとなりました。

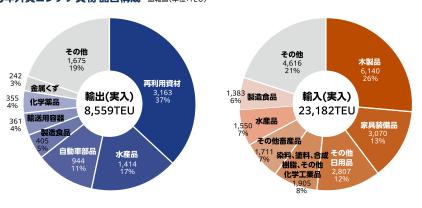
主な動向として、輸出では、古紙などの再利用 資材が3,163TEU(対前年比86.7%)と減少し たほか、水産品は中国による輸入禁止の影響で 1,414TEU(対前年比57.2%)となるなど、前年 を大きく下回りました。

一方、輸入では、主要貨物の木製品が6,140-TEU(対前年比309.5%)と大きく増加したほか、 電気機械が747TEU(対前年比124.9%)やそ の他日用品が2,807TEU(対前年比104.6%)な どの品目が前年を上回り、外質コンテナ取扱個 数全体は2年ぶりに増加に転じました。

### **外貿コンテナ取扱個数5年間の推移** ※令和5年は速報値



#### ● 令和5年外貿コンテナ貨物 品目構成 速報値(単位:TEU)



# 国内最大規模! 大型洋上風車が商業運転開始



■14基の洋上風車 写真提供:株式会社グリーンパワーインベストメント

### 圧倒的な存在感!約200mの洋上風車14基が港湾区域内に誕生

合同会社グリーンパワー石狩は、令和5年9月に沖合約1.6kmの港湾区域内に洋上風力発電施設14基の建設を完了し、令和6年1月1日より商業運転を開始しました。

風車の基礎部分は、ジャケット式構造と呼ばれる海底に杭を深く埋め込み固定する工法で建設され、その基礎部分と風車を合わせた海面からの高さは全長195.8mにも及びます。これは国内最大規模となる大きさであり、その発電能力は1基当たり8メガワットで、14基の総発電量は一般家庭の世帯数で換算すると、8万3千世帯分の年間消費量に当たる電力となります。発電した電力は、海底ケーブルを通じて、新港地域にある蓄電池まで送電されます。一定量まで蓄えられた電気は、変電所で電圧調整された後、北海道電力ネットワーク株式会社に売電され、一般家庭等に供給されます。

### 空中に浮かぶ!?世界最大級のSEP船「BLUE WIND」

この洋上風車の建設にあたっては、自航式で世界最大級となる清水 建設株式会社が保有するSEP(Self-Elevating Platform)船 「BLUE WIND」が使用され、令和5年7月に本港に入港しました。

SEP船はクレーン船とは異なり、船体に4本の足が備え付けられ、海底に伸ばしジャッキアップすることで、不安定な洋上でも波の影響を受けずに作業することができる効率性に優れた船舶です。ジャッキアップされた船体は、空中に浮かんでいるかのように見えます。

全長142m、全幅50mの本船は、備え付けられたクレーンの最大揚重能力が2,500tと、近年大型化する風車の建設に対応する性能を有しています。本港における風車の建設では、風車の部材のタワーやナセル、ブレードを一度に2基分搭載し、岸壁と設置場所とを7往復しながら、約2か月間で全14基の作業を行いました。



▲SEP船「BLUE WIND」による建設の様子。 (写真提供:株式会社グリーンパワーインベストメント)

### 風車をシンボルに、脱炭素社会の実現へ

国内においても最大規模の洋上風車建設は、令和6年1月5日放送のテレビ東京「ガイアの夜明け」で特集され、更に石狩市沖では多数の洋上風車の建設を検討しているとも紹介がありました。現在、石狩市では事業実施に向けて、国と北海道が設置する法定協議会開催の準備を進めています。事業が開始された際には、本港が建設の拠点を担うことが想定され、700社を超す企業が立地する石狩湾新港地域においても、洋上風車事業の0&M(オペレーション&メンテナンス)拠点、風車の部材を扱う製造拠点、関連する企業立地の促進、さらには雇用の拡大と期待が膨らみます。

また、石狩市沖以外に北海道内では4区域(右図)において も事業実施に向け検討が進められており、本港は北海道経済 の中心地である札幌市に近く、これら4区域とも近い地理的 優位性もあることから、複数の事業者から利用に向けた検討 の声も聞こえています。

今後は、洋上風車建設の機運がますます高まっていくこと

が想定されることから、本港では、基地港湾の指定を目指していくとともに、脱炭素社会の実現に向けたカーボンニュートラルボートの形成に取り組んでまいります。



## 北海道からシンガポールへ 大北海道展で北海道産品PR、売れ行きを探る

石狩湾新港管理組合では、本港を利用した北海道農水産物の輸出貨物拡大に向けた調査事業を行っています。令和5年度は昨年に引き続き、近年の東南アジアにおける北海道産品の人気の高まりから、同エリアに焦点を当て、道産品の需要などを調査しました。特に、シンガポール高島屋様に協力を頂き、11月9日から20日までの期間に開催された「大北海道展」では、販売する商品を本港から小口混載で輸出し、販売状況等を確認しました。

このイベントには35社が出展し、開催期間中には、北海道スイーツやラーメン、スープカレーを楽しみにしている方々で会場は溢れ、約19万人が訪れました。また今回は、北海道知事が来場者にホタテ試食を交えたPRの実施をはじめ、北海道産ワインの試飲コーナーが会場に設けられ、現地では大きな評価が得られました。北海道で育つ良質なぶどうから生産される道産ワインを、北海道庁は成長分野と期待し、認知度向上や販路拡大に取り組んでおり、本港においても更なる輸

出拡大を期待しています。

本調査は今年度で3年目であり、これまでの調査結果の総括を行う予定で、今後その結果を活かして新たな北海道産品の輸出貨物の創出につながるよう取り組みます。



▲販売された商品は、スイーツをはじめ、水産品、肉や北海道の家具など様々。

# 

### 開港30周年を迎える

石狩湾新港は、国際貿易港として1994年に開港してから本年で30周年を迎えます。 本年は、各種記念事業を計画しており、今後HPにその内容を掲載していきます。